

農業情報システム学分科会（第21期・第2回）議事要旨

日 時： 平成21年3月11日（水） 10:30～12:25

場 所： 日本学術会議5階 5-C（1）会議室

出席者： 野口 伸（委員長）、澁澤 栄（副委員長）、野並 浩（幹事）、齋藤誠一（幹事）、梅田幹雄、大下誠一、大政謙次、木谷 収、木村俊範、古在豊樹、後藤英司、笹尾 彰、橋口公一、橋本 康、前川孝昭、町田武美、村瀬治比古

オブザーバー：池田英男、田中道男、吉田 敏

資 料

- 資料1 議事要旨（第21期・第1回）
- 資料2 持続可能な農林水産業へのRS/GIS利活用に関するWG（仮称）
- 資料3 日本学術会議シンポジウム（案）
- 資料4 日本の展望 — 農業情報システム学分科会【要旨】
- 資料5 農学委員会・日本の展望
- 資料6 農学委員会・食料科学委員会（農業情報システム学分科会）総会報告
- 資料7 齋藤誠一先生説明資料
- 資料8 池田英男先生説明資料
- 資料9 古在豊樹先生説明資料

議 事

1. 審議に入る前に本分科会オブザーバーでWG「知能的太陽光植物工場」委員に就任した池田英男先生、田中道男先生、吉田敏先生から自己紹介があった。また、傍聴人として羽藤堅治先生、高山弘太郎先生、丸尾達先生が紹介された。
2. 議事要旨（第21期・第1回）が承認された【資料1】。
3. 齋藤委員から分科会WG「リモートセンシングとGIS（仮）」設置提案があった【資料2、資料7】。齋藤委員からの趣旨説明の後、WG設置について審議し、了承された。
なお、WG名は「農林水産RS/GIS」とすること、今後WGの審議内容と目標をさらに明確にすること、委員長は齋藤委員が務めること、また、町田委員、澁澤委員も加わることなどが決まった。
4. WG「知能的太陽光植物工場」から報告があった。池田WG委員からオランダグリーンハウス・フォーティカルチャーを例に実践的なScience Agricultureの必要性が述べられた【資料8】。
古在委員からは「総合環境制御の新しい考え方」【資料9】を、橋本委員からは今後のWGの進め方について報告があった。園芸と工学の融合が次世代の太陽光植物工場には不可欠であることを再認識するとともに、本年7月3日（金）関連シンポジウムを日本学術会議において開催することが決まった【資料3】。
5. WG「知能的太陽光植物工場」委員に新たに羽藤先生、高山先生、丸尾先生が加わる事が提案され了承された。また、町田委員、大政委員もWGに加わる事が決まった。
6. CIGR分科会の副委員長である村瀬委員から、2011年9月にCIGRが日本学術会議との

共同主催で国際シンポジウムを都内で開催するとの報告があった。

7. 学術会議が第21期中に策定を進めている「日本の展望」に対する農業情報システム学分会の取り組みについて、委員長から説明があった【資料4】。
また、親委員会である農学委員会における取りまとめ状況について報告があった【資料5】。
さらに、農業情報システム学分会の総会報告内容について確認した【資料6】。
8. 次回分科会（第21期・第3回）は7月3日（金）10：00～12：00となった。同日午後にシンポジウムを開催する。

以上